

閲覧資料紹介 『市民生活白書』(一九六四年)

横浜における「市民生活」とは、一体どのようなものか。さまざまな生活がある中で、行政が取り組むべき共通の課題とは何か。『市民生活白書』はこの事を考える上で好適な文献である。同書は一九六四年から二〇一九年までに計十四回刊行され、それぞれの時代に横浜市が認識した市民生活の姿を読み取ることが出来る。今回はそのうち最初の一冊を紹介する。

『市民生活白書 新しい横浜への展望』は、一九六四年四月に刊行された。編集・発行は総務局調査室で、一九六三年四月の市長選にて飛鳥田一雄が当選した直後(七月)に新設された。白書の作成は九月から着手され、横浜国立大学・横浜市立大学・神奈川大学・関東学院大学からも数十名の研究者が執筆・編集に参加した。刊行目的は「市民生活の側」から「都市としての横浜」と「市政」の現状に「一つの決算書」をつくることにあったという。

本書は総論と全六章の各論に分かれている。総論では、都市横浜の歴史と共に、工業都市化・衛星都市化が進むなかで生活環境が悪化している現状が確認され、これを市民の力で変えていくために、四つの原則(近代的市民生活優先、公共的計画、民主的平等、主体的自治)が提言されている。

一章では、横浜における人口増加の独自の傾向を多面的に分析し、「ハマっ子」の内実が考察される。二章では、市民の所得と就業形態が産業別(工業、商業・貿易・サービス業、農業・漁業、屋外労働・内職)に分析される。三章では市民の消費生活として、消費支出と貯蓄、買物先や物価の動向、食・住・教育・娯楽・電気製品・テレビ・自動車等への支出が整理される。四章では市民の社会活動として、住民意識(町内会)・政治意識(選挙動向)・文化活動の実情が確認される。五章では生活環境の問題として、宅地、水道、電気・ガス、ゴミとし尿の処理、公園と緑地帯、道路・河川と交通、港湾、公害と災害等が概括され、総合的な都市づくりの必要性が提起される。社会福祉と公衆衛生の現状も確認される。六章では市民生活と市政の関係が財政面から説明され、横浜の財政構造と市民による租税負担・税外負担の概要が示される。

本書は当時の市政と市民生活の姿を総合的に整理することで、「子供を大切にすする市政」「だれもが住みたくなる都市づくり」を標榜する飛鳥田市政の出发点を示した刊行物と言えよう。また本書では随所に「市長への手紙」に寄せられた生活上の要望が引用されており、市民の声に裏付けをもって応答することが意識されている。こうした刊行物は横浜市でも初の試みであった。本書は有隣堂で発売され、市内のベストセラーになったという。(金耿晃)

一章では、横浜における人口増加の独自の傾向を多面的に分析し、「ハマっ子」の内実が考察される。二章では、市民の所得と就業形態が産業別(工業、商業・貿易・サービス業、農業・漁業、屋外労働・内職)に分析される。三章では市民の消費生活として、消費支出と貯蓄、買物先や物価の動向、食・住・教育・娯楽・電気製品・テレビ・自動車等への支出が整理される。四章では市民の社会活動として、住民意識(町内会)・政治意識(選挙動向)・文化活動の実情が確認される。五章では生活環境の問題として、宅地、水道、電気・ガス、ゴミとし尿の処理、公園と緑地帯、道路・河川と交通、港湾、公害と災害等が概括され、総合的な都市づくりの必要性が提起される。社会福祉と公衆衛生の現状も確認される。六章では市民生活と市政の関係が財政面から説明され、横浜の財政構造と市民による租税負担・税外負担の概要が示される。

《市史資料室たより》

【令和元年度横浜市史資料室展示会】
【YOKOHAMA1989-“平成”スタート】



横浜博覧会(YES'89)開会式 1989年3月24日

主催：横浜市史資料室
共催：神奈川新聞社
協力：横浜市中央図書館、横浜都市発展記念館
会期：7/13(土)～9/23(月・祝)
時間：午前9時30分～午後5時
◎入場無料
会場：横浜市西区老松町1番地
横浜市中央図書館地下1階ホール前
ホワイエ及び横浜市史資料室
休室日：毎週日曜日及び
7/16(火)、8/13(火)、9/17(火)
内容：平成元(1989)年の横浜で起きた
様々な出来事を新聞や映像等を使って
ふり返ります。

【展示関連講演会】《事前申込制》

「平成元年」の横浜を
見説く・読み解く 参加無料

日時：8/24(土)午後1時30分～4時30分
会場：横浜市中央図書館地下1階ホール
・映像で説く平成元年の横浜／平野正裕
(横浜市史資料室主任調査研究員)
・『神奈川新聞』が報じた平成元年／平松晃一
(神奈川新聞アーカイブズ)

募集人数：160人(応募多数の場合は抽選)

申込方法：往復はがきに応募者の氏名・住所・
電話番号を明記の上、宛先にお送り
ください。(1通につき2人まで申
込可能です。)

申込締切：8/14(水)必着
宛先：〒220-0032 横浜市西区老松町1
横浜市中央図書館地下1階
横浜市史資料室

*講演会で手話通訳を希望される場合は、
8/16までに横浜市史資料室へご連絡ください。
TEL 045-251-3260 Fax 045-251-7321
eメール：so-sisiryou@city.yokohama.jp

【展示解説】《申込不要・参加無料》

7/20(土)、8/17(土)、9/14(土)
各日午後2時から1時間程度
当日展示会場入口にお越しください。

【寄贈資料】

- 1 斎藤博巳様
陸軍歩兵学校教導隊通信隊分遣記念写真帖他 20件
- 2 鈴木正恵様
小野道正家資料追加 1件
- 3 後藤 周様
横浜の関東大震災研究ノート追加 35件
- 4 井上寛子様
井上信道家資料・井上寛子家資料追加 7件
- 5 大村君子様
朝日新聞昭和18年12月12日他 2件
- 6 齋藤良子様
丸公印のついた値札付き反物 1件
- 7 倉田茂男様
明治・大正・昭和期の呉服商関係資料他 433件
- 8 川上桂司様
川上桂司家資料追加 24件

◇ 休室日のご案内 ◇

毎週日曜日及び
7/16(火)、8/13(火)、9/17(火)
10/15(火)、11/5(火)